

令和5年度 学校園評価シート

学校園名	加古川市立鳩里保育園
------	------------

1 保育理念 子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す。

2 基本方針

- 一人一人の子どもの生き生きとした生活と遊びを育む
- 一人一人の育ちと集団としての育ちを大切にする
- 日々の保育実践を振り返り、保育士及び保育園の自己評価体制を築いていく
- すべての保育士、調理員が協働体制を組んで、子どもの育ちを支援していく
- 異年齢保育を通して、育ち合う仲間関係を築いていく
- 小学校とのなめらかな接続を図り、5歳児の育ちを支援していく
- 食育を通して、心身の健康やよい習慣が得られるようにする

3 保育目標

- 生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う
- 集団生活を通して、人に対する愛情と信頼感を育て、自立と協働の態度を培う
- さまざまな体験を通して豊かな感性と表現力を養い、創造性の芽生えを培う
- 生命、自然及び社会の事象に対する興味や関心を育てる

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生活に必要な基本的な生活習慣や態度を養う	○自分から進んで明るく元気に挨拶をする。 ○健康や安全な生活の仕方を身に付ける。	B	・保育者も明るく気持ちの良い挨拶を心掛けることで、挨拶ができる子が増えてきている。園全体で気持ちの良い挨拶ができるよう継続して取り組みながら、自分から挨拶ができるように働きかけていきたい。 ・健康に過ごすための生活の仕方が身に付いてきている。安全面については、避難訓練等を積み重ね、自分の命を守るための行動が身に付いてきたり、生活や遊びの中での約束事が分かってきたりしている。
心身の健康の基礎を培う	○様々な体を使った遊びを経験し、伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 ○自分なりの目標に向かって、あきらめずに挑戦する。	A	・様々な体を動かす遊びを経験し、生き生きと遊ぶ姿が見られた。今後も体を動かして遊ぶ時間を十分に確保し、子ども達が自ら遊びを見付け運動遊びに取り組めるよう、環境を整えていきたい。 ・少し難しいことにも挑戦できるように、励ましたり気持ちに寄り添ったりした。頑張りを認めたり、できるようになったことを共に喜ぶことで、あきらめずに挑戦する意欲に繋がってきている。
様々な人と関わる喜びを感じ、思いやりや信頼感を育む	○様々な人と関わり、親しみや感謝の気持ちをもつ。 ○友達や異年齢児と関わる中で、優しさや思いやりの気持ちをもつ。	A	・ボランティアの方から野菜の植え方を教えていただいたり、栽培物の収穫を共に喜んだりして、親しみや感謝の気持ちをもつことができた。また中高生とのふれあひも、憧れや親しみをもって交流できた。 ・コロナが5類となり、異年齢児交流をする機会が増え、年下の友達に優しく接する姿が見られた。年少児も憧れの気持ちをもち、ふれあう中で良い刺激を受けていた。今後も異年齢児交流を活発に計画していきたい。
身近な自然や社会事象に対する興味や関心を育む	○身近な自然現象に関心をもったり、生き物に関わったりする中で、親しみをもったり、命の大切さに気付いたりする。 ○野菜の栽培や収穫を体験し、様々な食材に興味や関心をもつ。	B	・小動物に触れたり世話をしたりすることで、その不思議さや面白さを感じ、命の大切さにも気付くことができてきた。子ども達の発見や感動に寄り添い、自然や小動物に触れる機会を大切にしていきたい。 ・季節の野菜の栽培を年間を通して行い、世話をしたり収穫の喜びを味わったりしたことで、食材に興味や関心が広がった。苦手な野菜も食べようとする姿にも繋がってきているので、今後も続けていきたい。
保護者との連携を図る	○家庭と協力しながら、子どもの成長を見守っていく。 ○保護者に園の取り組みや子ども達の活動の様子を発信していく。	B	・クラスや行事での活動や遊びの様子をドキュメンテーションで掲示したり、行事での取り組みをICTを利用してキッズリーで配信したりし、保護者に園での子ども達の様子が伝わるように努めた。また行事において、子ども達の成長を感じていただくことができた。今後も日々の様子や成長をより伝えられるよう、職員間で連携して取り組んでいきたい。